

平成 28 年度
まちづくり専門家派遣
実 績 報 告

垂水区

神戸市住宅都市局まち再生推進課
神戸すまいまちづくり公社

目次

垂水区	派遣 内容		ページ 番号	区域図 No
1 星陵台8丁目自治会	アド1.2	...	P.2	(垂水1)
2 東垂水地区まちづくり推進会	コンサル	...	P.3	(垂水2)
3 泉が丘北エリア安全・安心まちづくり委員会	コンサル	...	P.5	(垂水3)
4 城が山北エリア安全安心まちづくり委員会	コンサル	...		(垂水4)
5 塩屋まちづくり推進会	コンサル	...	P.8	(垂水5)
6 霞ヶ丘ふれあいのまちづくり協議会	コンサル	...	P.10	(垂水6)
7 荒内自治会	コンサル	...	P.12	(垂水7)

星陵台8丁目地区まちづくりの会（設立準備中）

位 置	神戸市垂水区	地区の性格	低層戸建て住宅を主体とした閑静な住宅地
面 積	約 2.5ha	世 帯 数	約120世帯（H28.12住民基本台帳 面積按分で算出）
設立年月	—	設 立 主 旨	良好な住環境・街並みを保全・育成するため
連絡先	アピールしたいことを一言！ 現在、地区計画案を作成しています。		

区域図



活動の様子



地区計画案の検討の前に、まずはまちの魅力や課題について意見交換をしました。

これまでの活動の概要（注：アドバイザー派遣以降）

平成 28 年 6 月 24 日 地区計画案作成の説明会

平成 28 年 7 月 4 日 第 1 回会議

- ・地区計画制度、建物や敷地に関わる制度の勉強会
- ・まちの現況確認と課題の整理
- ・地区計画案の作成

平成 28 年 9 月 まちづくりニュース創刊号発行

平成 29 年 1 月 第 1 種中高層住居専用地域
地区内権利者ヒアリング調査

平成 29 年 3 月 地区計画案の配布
アンケート調査の実施

平成 28 年度にまちづくりニュースを 3 号発行

平成 29 年 4 月に、地区計画案説明・意見交換会を
3 回開催する予定



月 1 回会議を開いて、地区計画案の検討を進めました。特に影響の大きい区域の権利者にはヒアリングも行いました。



平成 29 年 3 月末に地区計画案のアンケート調査票を配布しました。（まちづくりニュース第 3 号で説明・意見交換会の案内）

— 専門家派遣地区データ及び成果 —

◇まちづくり計画

派遣地区名	星陵台8丁目 地区		
所在地	神戸市 垂水 区 星陵台8丁目の一部		
世帯数・地区面積	約120 世帯 ※H28.12住民基本台帳 (面積按分で算出) 約 2.5 h a		
派遣目的	・地区計画案の作成支援 ・まちづくりの会設立に向けての支援		
本年度の 活動内容及び成果 ・いつ・何が・どうなっ たのか具体的にご記入 ください	年度	種別 (いずれかに○)	活動内容及び成果
	28年度	アドバイザーⅠ アドバイザーⅡ コンサルタント	1) 会議(概ね毎月1回開催) - 現在の法規制や地区計画制度等の勉強会 - まちの魅力や課題についての意見交換 - 建物・敷地の現状等の確認 - 地区計画案の検討 2) 説明会(平成29年6月) - 地区計画案作成に向けての説明会を開催 3) まちづくりニュースの発行 - 創刊号
難航した点 有効だった点	1) 地区計画案の作成について 当初は、都市計画道路の幅員変更に伴う沿道地区の高さ制限を主目的とする地区計画策定が目的ではあったが、検討を進めるなかで、ゴミステーション、子供の遊び場の確保等の様々な地域課題が出てきた。 まずは地区計画案の作成に取り組み、その後、アンケート調査や意見交換会等で出てきたその他の地域課題を整理していきたい。		
今後の課題	1) 地区計画案作成後の取り組みについて 関係権利者の総意が得られ次第、地区計画案を神戸市長に提案することで当初の目的は達成するが、その他の地域課題の解決に向けた活動等については、既存自治会や関係団体等との協議が必要になると考えられる。		

アドバイザー・コンサルタント名 株式会社 遊空間工房

記入担当者 野崎 隆一 (連絡先) (078) 261-0337

東垂水地区まちづくり推進会

位 置	神戸市垂水区	地区の性格	山麓密集市街地
面 積	約70ha	世 帯 数	約4,500世帯
設立年月	1993.5.	設 立 主 旨	安心して住み続けられるまちづくり
		アピールしたいことを一言！ 地域の安全・安心を高めるために、身近なエリアごとに「まちづくり構想」の作成を進めています。	

区域図



活動の様子



総会での「まちづくり構想（素案）」の周知

活動の概要

勉強会・まちあるきの開催

- ・勉強会を月1回開催。
- ・継続事業である「わがまちウォーク」を2回開催。
- ・年2回「東垂水地区まちづくり推進会ニュース」の編集・発行。

まちづくり構想（案）賛否を問うアンケートに向けた周知

- ・自治会等へ周知に向けて、回覧のお願いや、来年度実施するアンケートに向けた協力依頼などを実施。
- ・構想の見やすさ、わかりやすさに向けて協議。
- ・回答しやすいアンケート作成に向けて、事例の紹介、意見交換を行った。

緑のマスタープラン

- ・近年、地区内では住宅開発などによって、まとまった緑地がなくなるケースが目立っている。そこで、はじめに公共の未利用地を活用できないかと思い、定例会の中で活用案を作成した。その中で、駅周辺の土地に掲示板の設置をおこなうことができた。



わがまちウォーク「会えたらいいな！渡り鳥！！」



公共の未利用地を活用した活動PR掲示板の設置

— 専門家派遣地区データ及び成果 —

◇まちづくり計画

派遣地区名	東垂水地区		
所在地	神戸市 垂水区 城が山ほか（東垂水小学校区）		
世帯数・地区面積	4、500 世帯		約70 ha
派遣目的	東垂水地区における対象団体の安全・安心まちづくり推進のための取り組みに対して、専門的・技術的な支援をする。		
本年度の活動内容及び成果 ・いつ・何が・どうなったのか具体的に記入ください	年度	種別 (いずれかに○)	活動内容及び成果
	28年度	アドバイザーⅠ アドバイザーⅡ ○コンサルタント	定例会の開催と情報発信 ・月1回、「センターかけはし」にて勉強会を開催している。その他、総会（1回）、まちあるき（2回）を行った。また活動報告のニュースを2回発行している。 わがまちウォークの実施 ・恒例行事となっているまちあるき（わがまちウォーク）は、あらゆるまちづくり活動のベースとなっている。 まちづくり構想（素案）の周知 ・地区内の自治会長あてに、来年度実施するまちづくり構想（案）の賛否を問うアンケートのために、協力依頼と現在の構想（素案）の回覧の依頼を実施した。 ・また、定例会の中で素案のわかりやすさ、見やすさなどについて意見を交わし、アンケートづくりに向けてすすめている。 緑のマスタープラン ・近年、地区内では住宅開発などによって、まとまった緑地がなくなるケースが目立っている。そこで、はじめに神戸市所有の空地の活用ができないかと思い、定例会の中で活用案を作成した。
難行した点 有効だった点	難行した点 ・事業を実施したり、活動も長期間経過している中で、まちづくり構想を今からつくる意義などの理解、共有に時間がかかった。 有効だった点 ・継続イベントのわがまちウォークの中で、現場の確認や、住民の意見などを集める機会がくれた。		
今後の課題	・まちづくり構想（案）賛否を問うアンケートを実施予定である。地区が広範で世帯数が多いため、回収方法をいろいろな手段を講じて集める必要がある。 ・未利用地の活用計画の策定と整備の推進にあたって、関係自治会等との連携をはかる。 ・上記の活動のため、将来的なまちづくりの活動の継続のためにも担い手となる人材を探す必要がある。		

アドバイザー・コンサルタント名 株式会社 都市調査計画事務所

記入担当者 北岡 直子 （連絡先）（078）453—6378

泉が丘北・城が山北地区

位 置	神戸市垂水区	地区の性格	山麓密集市街地
面 積	15.5ha	世 帯 数	約1,500世帯
設立年月	泉が丘北地区 2011.2 城が山北地区 2012.9	設 立 主 旨	今の世代が安心して住みつづけられるとともに、少しずつ、ゆるやかに、まちの防災・耐震化を促し、次世代へと受け継がれるまちづくり
		アピールしたいことを一言！ 「安全安心まちづくり構想」の具体化に向けて取り組んでいます。	

区域図



活動の様子



緊急避難サポート事業により安全な通路の整備（泉が丘北地区）



完成予定のまちなか防災空地（城が山北地区）



まちなか防災空地完成記念式典（城が山北地区）

これまでの活動の概要

<泉が丘北地区>

●委員会の開催

- ・地区の全体の委員会を1回開催した。
- ・また、完成したまちなか防災空地で、地域の交流を兼ねた、花見などの行事を開催した。

●緊急避難サポート事業による通路の整備に向けた取り組み

- ・昨年より懸案であった通路について、緊急避難サポート事業の利用と沿道関係者の協力により整備をおこなった。

<城が山北地区>

●検討会の開催

- ・地元自治会等での検討会を3回開催。
- ・まちなか防災空地整備にむけた会合2回開催。

●まちなか防災空地整備に向けた取り組み

- ・昨年完成した、まちなか防災空地の完成記念式典を開催した。
- ・2016年度末に完成する取り組みについても、エリア周辺にも広報を行い、利用者募集をしたところ、予想を超える数が集まり、無事にスタートがきれそうである。

— 専門家派遣地区データ及び成果 —

◇まちづくり計画

派遣地区名	泉が丘北・城が山北 地区		
所在地	神戸市 垂水区 城が山4丁目, 5丁目, 泉が丘4丁目, 5丁目 ほか		
世帯数・地区面積	約1,500 世帯		15.5 h a
派遣目的	「安全安心まちづくり構想」を具体化する取り組みに対して、専門的・技術的支援を行う。 対象団体が取り組む、密集市街地の課題解決のための防災空地の整備や細街路整備、避難協定の締結等を目指した個別的、具体的な密集再生事業の検討に対し、支援する。		
本年度の 活動内容及び成果 ・いつ・何が・どうなっ たのか具体的にご記入 ください	年度	種別 (いずれかに○)	活動内容及び成果
	28年度	アドバイザーⅠ アドバイザーⅡ ○コンサルタント	定例会の開催 ・月1回,「センターかけはし」にて行われている東垂水地区まちづくり推進会の勉強会にあわせて例会を持っている。その他,個々の事業については随時,関係権利者等との会合を行った。 まちの安全・安心に関する取り組み 【泉が丘北エリア】 ・一昨年より検討にあがっていた,通路の整備が権利者の確認ができ実施できた。 ・助成金を利用しただけでは費用が足りず,関係権利者による費用負担等をおねがいし完成した。 【城が山北エリア】 ・当初より懸案となっていた空地を,まちなか防災空地として整備し,活用できることとなった。 ・自治会等の集まりでは,整備後畑として利用する案は「利用者がいないのでは?」という疑問があったが,実際周辺地域に配布,掲示板で募集ちらしを掲示することにより10名以上の利用者を見込み,整備の運びとなった。 ・関係者による維持・管理体制についても決めることができた。
難行した点 有効だった点	難航した点 ・参加者が自治会の役員にとどまる傾向があり,かつ任期中の参加に限られ,継続的な関わりが薄い。 有効だった点 ・完成したまちなか防災空地で,花見などの行事を開催して地域の交流深めることができた。 ・「まちなか防災空地整備事業」の具体化が決定してから,掲示板などにより周知したことでエリア外の利用者も集まり,維持管理体制性ができあがった。		
今後の課題	・将来的なまちづくりの活動の継続のためにも担い手となる人材を探す必要がある。 ・まちづくり構想を踏まえた整備計画の策定 ・新たな制度を活用した事業の具体化		

アドバイザー・コンサルタント名 株式会社 都市調査計画事務所

記入担当者 北岡直子 (連絡先) (078) 453-6378

塩屋まちづくり推進会

位 置	神戸市垂水区	地区の性格	山麓市街地（住商混在）
面 積	約200ha	世 帯 数	約5,500世帯
設立年月	2006. 4	設 立 主 旨	歴史・自然・文化を生かした住み続けられるまちづくり
連絡先	アピールしたいことを一言！ 塩屋らしさを継承するための「しおや景観基準」づくりや、コミュニティバスの導入に向けた社会実験の準備に取り組んでいます。		



区域図

活動の様子



これまでの活動の概要

●塩屋まちづくり推進会の設立（2006）

2006年4月、「塩屋まちづくり推進会」設立。だれもが自由に参加できる場として月2回のペースで会合を持っています。2008年7月に、地域の将来像をまとめた「塩屋まちづくり構想」を市に提出しました。道路の安全性の向上や自然・景観の保全、駅前のあり方などの方針を定めています。

●都市計画道路の見直し協議

2010年7月、都市計画道路・塩屋多井畑線に関する地域住民の考え方を示した提案書を神戸市に提出しました。その後、市からの回答（計画変更素案の提示）があり、さらにその素案に対する地域からの回答をまとめた「再提案書」を2013年7月、市に提出しました。結果、都市計画変更に至り、現在、一部区間において測量に基づく設計が進められています。推進会では、駅前～塩や小学校間についての整備イメージをまとめました。

●「塩屋見聞録Ⅱ」作成

昨年度から継続している取り組みで、今回は1955年頃の塩屋駅・塩屋商店街をピックアップしてマップを作成しました。

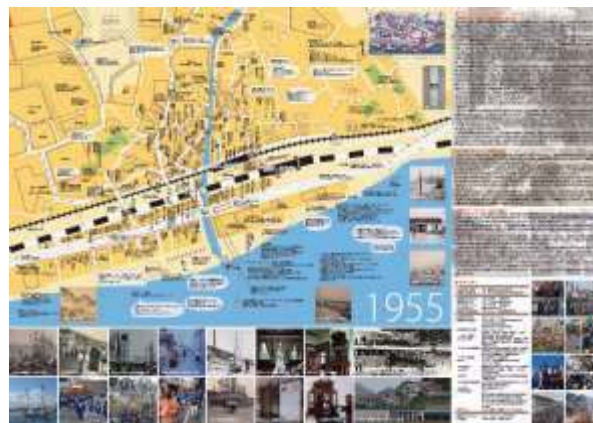
●コミュニティバス運営支援

2回の試験運営を経て、タクシー車両から7人乗りの車両に変更し運営を続けています。来年度4月には本格運行へと移行する予定です。

●塩屋景観ガイドライン作成中

塩屋らしい風景を時代に引き継ぐため「しおや景観ガイドライン」の検討を進めています。今年は、町独自の景観基準をもつ神奈川県真鶴町へ視察に訪れ、町民や役場職員と意見交換を行いました。

都市計画道路整備に伴う周辺環境の整備について、地域としての意見をまとめました。



昨年に引き続き塩屋に長年の居住者の記憶をもとに「塩屋見聞録Ⅱ」を作成しました。1955年頃の塩屋駅・塩屋商店街周辺のマップです。



神奈川県真鶴町にて、先進地の視察と意見交換を行いました。「しおや景観ガイドライン」を眺めながら。

— 専門家派遣地区データ及び成果 —

◇まちづくり計画

派遣地区名	塩屋 地区		
所在地	神戸市 垂水区 塩屋町ほか（塩屋小学校区）		
世帯数・地区面積	4, 500 世帯		200 h a
派遣目的	塩屋地区において、対象団体の都市計画道路の整備，駅前の保全・整備，自然・景観保全のルールづくりなどの取り組みに対して，専門的・技術的支援をする。		
本年度の活動内容及び成果 ・いつ・何が・どうなったのか具体的に記入ください	年度	種別 (いずれかに○)	活動内容及び成果
	28年度	アドバイザーⅠ アドバイザーⅡ ○コンサルタント	●定例会の開催と情報発信 ・月2回，塩屋地域福祉センターで定例会を実施している。その他，総会（1回），商店街の空店舗を活用した「まち縁カフェ」でのワークショップ（5回）を行った。また活動報告のニュースレターを2回発行している。 ●全体会 ・駅～大谷交流ゾーン整備方針案の検討を行い，「塩屋将来イメージ」としてまとめた。 ・塩屋コミュニティバスの運営支援として，本格運行に向けたアンケート調査の回収促進や利用促進に取り組んだ。 ・国道2号関連の課題について，地域としての要望をまとめ，JRに対しては要望書を提出した。 ●景観部会 ・塩屋らしい風景を次代に継承するための景観基準の策定に向け，継続的な検討を行っている。 ・景観基準となる「しおや景観ガイドライン」素案を提示し，全体を通して意見集約を行った。 ・また，先進事例である神奈川県真鶴町の視察を行い，運用側である真鶴町役員を含めた町民と意見交換を行った。今後の検討課題の洗い出し，景観基準策定において必要な視点等，多くの学びを得ることができた。
難航した点 有効だった点	●難航した点 ・前年度に引き続き，検討事項がきわめて多岐にわたっている。月2回の定例会に，「まち縁カフェ」と称するフリートークの機会を定期的に設けているが，それでもなお議論が細切れにならざるを得ない面がある。 ●有効だった点 ・定例会への新たな参加者や学生・研究者の参加が見られた。また，活動や検討内容について，外部からの意見を得る場面が多くあり，内容の充足に繋がった。		
今後の課題	●都市計画道路・塩屋多井畑線整備の推進 ●景観ガイドライン素案の公表と意見募集 ●整備計画（駅前の空地活用，小学校への避難路）の詳細検討		

※入力フォーム（EXCEL）が必要な方はメールでお知らせください。

アドバイザー・コンサルタント名

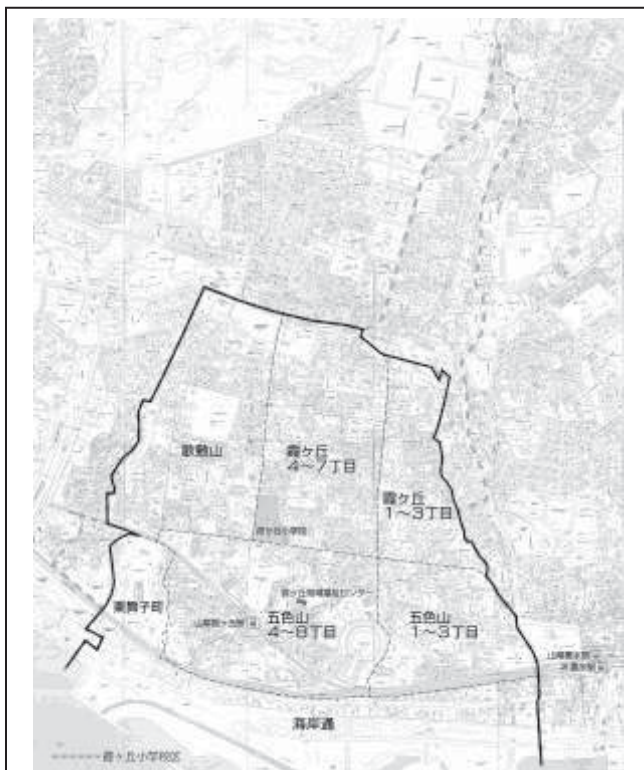
株式会社 都市調査計画事務所

記入担当者 田中正人 （連絡先）（078）453—6378

霞ヶ丘地域まちづくり推進会

位 置	神戸市垂水区	地区の性格	住宅地
面 積	約150ha	世 帯 数	約8000世帯
設立年月	平成25年度	設 立 主 旨	安全で快適な住まい・まちづくりの推進
連絡先	アピールしたいことを一言！ 都市計画道路の見直し提案（いったん廃止）を契機に、道路問題だけでなく、安全で快適な住まい・まちづくりをめざして、推進会を設立しました。		

区域図



活動の様子



ふれあいのまちづくり協議会における勉強会の様子



今後の取り組みに関するワークショップの様子



霞ヶ丘地域まちづくり推進会設立総会の様子



まちの現状と課題のためのまち歩きの様子

これまでの活動の概要

- * H12年8月の都市計画ミニニュースで幹線道路不足の課題のある地区と発表以来、ふれあいのまちづくり協議会における話し合いをスタート。
- * H14年7月に全世帯（7,100世帯）を対象に「霞ヶ丘まちづくりアンケート調査」を実施し、H15年6月にその結果報告のニュースを全戸配布。H15年度も検討を継続するも、協議会の立ち上げには至らず。
- * H24年2月にふれあいのまちづくり協議会が「霞ヶ丘地域の都市計画変更素案に対する意見書」を提出。都市計画道路の見直しを受け、まちの課題解決に向けて、まちづくり勉強会を開始。平成24、25年度にまちの現状と課題、及び今後の取り組みに関するワークショップを開催し、その結果をまちづくりニュースで全戸配布するとともに、まちづくり組織の設立に向けた準備会を立ち上げた。
- * 平成27年5月、霞ヶ丘地域まちづくり推進会を設立。11月にはまち歩きを実施し、そこで確認した課題に関する今後の取り組みについての話し合いを行い、ニュースの全戸配布により、結果報告を行った。
- * 平成28年には、「明日の霞ヶ丘を考える全世帯アンケート調査」を実施し、その結果をニュースで全戸配布した。今後は、アンケート結果もふまえ、まちづくり構想の策定に着手する予定。

— 専門家派遣地区データ及び成果 —

◇まちづくり計画

派遣地区名	霞ヶ丘地区	
所在地	神戸市 垂水区	
世帯数・地区面積	約8000世帯	約150ha
派遣目的	都市計画道路舞子公園福田川線の見直し提案（いったん廃止）」を契機に、都市計画道路の問題だけでなく、安全で快適な住まい・まちづくりをめざして、まちづくり協議会の設立に向けた支援を行う。	
本年度の活動内容及び成果 ・いつ・何が・どうなったのか具体的に記入ください	年度	種別 (いすれかに○)
	28年度	アドバイザーⅠ アドバイザーⅡ ○コンサルタント
活動内容及び成果 ①4/8【打合せ】まち歩きで明らかになった課題についての関係機関への要望の報告/平成28年度定期総会について ②4/19【役員会】まち歩きで明らかになった課題についての関係機関への要望の報告/平成28年度定期総会について ③5/6【打合せ】2016年度定期総会の確認事項 ④5/17【役員会】2016年度定期総会の確認事項 ⑤5/22【定期総会】2016年度総会/「考えよう！私たちの霞ヶ丘」意見交換 ⑥6/16【打合せ】2016年度定期総会のふりかえり/今年度の取り組みについて ⑦6/21【役員会】2016年度定期総会のふりかえり/住民アンケートについて/まちづくりニュースの発行について ⑧7/1【打合せ】夜のまち点検について/住民アンケート調査について ⑨7/20【役員会】夜のまち点検について/住民アンケート調査について ⑩8/19【打合せ】夜のまち点検について/住民アンケート調査について ⑪8/23【役員会】すまいの耐震化推進の取り組みについて/住民アンケート調査について/夜のまち点検について ⑫9/8【打合せ】夜のまち点検について/住民アンケート調査について ⑬9/20【役員会】夜のまち点検について/住民アンケート調査について ⑭10/6【打合せ】住民アンケート調査について/ニュース第3号について ⑮10/18【役員会】住民アンケート調査について/ニュース第3号について ⑯10/28【打合せ】住民アンケート調査の実施に向けた最終確認 ⑰11/15【役員会】住民アンケート調査の実施に向けた最終確認 ⑱12/12【打合せ】無料耐震講演会の報告/住民アンケートの集計状況 ⑲12/20【役員会】無料耐震講演会の報告/住民アンケートの集計状況 ⑳1/13【打合せ】全世帯アンケート調査の単純集計報告/意見交換 ㉑1/17【役員会】全世帯アンケート調査の単純集計報告/意見交換 ㉒2/17【打合せ】全世帯アンケート調査の単純集計報告/全世帯アンケート調査のクロス集計結果報告 ㉓2/21【役員会】全世帯アンケート調査の単純集計報告/全世帯アンケート調査のクロス集計結果報告 ㉔3/3【打合せ】全世帯アンケート調査のクロス集計結果報告/霞ヶ丘まちづくり推進会活動報告(案)/まちづくりニュース第4号の発行について ㉕3/12【打合せ】全世帯アンケート調査のクロス集計結果報告/霞ヶ丘まちづくり推進会活動報告(案)/まちづくりニュース第4号の発行について		
難航した点 有効だった点	＊難航した点 ・難航したというほどではないが、住民アンケートの調査票設計には時間を要したが、地域住民の方がわがまちをどう評価しており、どのようなことを課題と感じているのか、さらにはどんな取り組みが重要と思っているかなど、まちづくり構想を作成するにあたり、広く住民の声を聞いておきたい観点からとりまとめることができた。 ＊有効だった点 ・まずは、全世帯アンケート調査を実施したことが今年度の大きな成果であり、アンケートに寄せられた意見についても、道路問題に関することが一番多かったことから、今後のまちづくり構想の策定にあたって、道路問題が主要テーマの一つになることが確認されたことである。 ・また、昨年度のまち歩きの次の展開として、夜のまちの安全の観点から今年度もまち歩きを実施し、まちの現状把握に有効であったと考える。 ・さらに、神戸市耐震推進課と協働で無料耐震講演会を開催し、アンケートでも耐震対策についての項目を設け、周知に寄与できたと思う。	
今後の課題	次年度には、より詳細なアンケート分析結果を地域住民に報告するとともに、今後のまちづくりについての意見交換等も行いながら、役員会において、めざすべきまちの将来像（構想）をとりまとめていく予定である。その中で、アンケート調査でも最も意見の多かった道路に関しての検討を進めるにあたり、その論点の整理と地域全体としての道路のあり方も含め議論の積み重ねのプロセスデザインが重要となってくると思われる。	

アドバイザー・コンサルタント名 株式会社 コー・プラン

記入担当者 吉川 健一郎 (連絡先) (078) 842-2311

城が山 4.5 丁目その 1（荒内自治会）

位 置	神戸市垂水区	地区の性格	密集市街地・細街路整備・防災性向上
面 積	約6.0ha	世 帯 数	386世帯
設立年月	-	設 立 主 旨	地域発展のために寄与する
		アピールしたいことを一言！ 今の世代が安心して住みつづけられるとともに、少しずつ、ゆるやかに、まちの防災・耐震化を促し、次世代へと受け継がれるまちづくり	

区域図



これまでの活動の概要

細街路整備事業について説明



不明権利者の調査・説明の実施



測量の実施



道路中心線案の現地での確認



2 項道路中心線確認書の作成

対象路線 現地写真



— 専門家派遣地区データ及び成果 —

◇道路整備型まちづくり計画

派遣地区名	城が山4.5丁目その1地区（荒内自治会）（法定容積率 %）		
所在地	神戸市 垂水区 城が山4.5丁目		
権利者数・道路概要等	権利者数12名 土地所有者10名 建物所有者8名 賃借人1名	延長83.372m × 幅員3.864-3.943m（公道・私道）	
		戸数8戸	うち既存8戸 再建済 戸 空地 戸
中心線合意・道路整備	道路中心線合意形成 済・未済		着工30年予定 （未確定の場合は予定を書いてください。）
派遣目的	東垂水の密集市街地の防災性の向上をめざして、街区内の2項道路の中心線後退及び老朽建築物等の建替えを促進するため、道路整備工事に先立ち、対象団体が行う取り組みに対して、専門的・技術的な支援を行う。		
本年度の派遣実績並びに成果 ・いつ・何が・どうなったのか具体的にご記入ください	年度	種別 (いずれかに○)	成果
	28年度	アドバイザーⅠ アドバイザーⅡ ○コンサルタント	細街路整備事業について説明 ▽ 不明権利者の調査・説明の実施 ▽ 測量の実施 ▽ 道路中心線案の現地での確認 ▽ 2項道路中心線確認書の作成
難行した点 有効だった点	難航した点 ・地区外の権利者が遠方のため現地の確認ができず、図面や写真での説明が大変であった。 有効だった点 ・自治会の協力があり、権利者の方との連絡等がスムーズにいった。		
今後の課題	・申請書の確認をすすめる。		

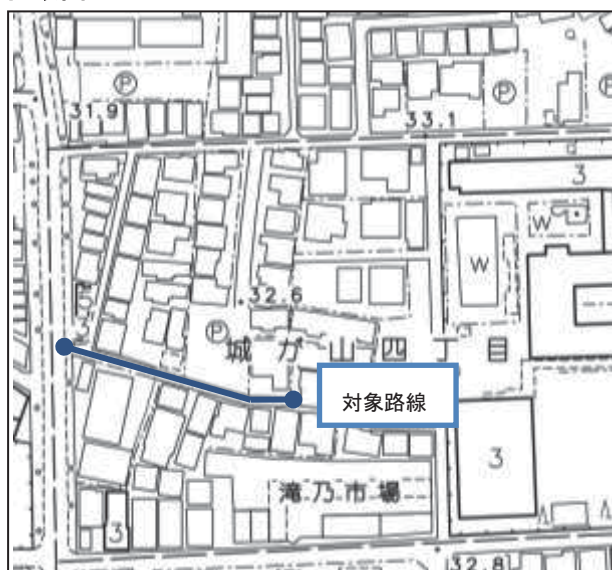
アドバイザー・コンサルタント名 株式会社 都市調査計画事務所

記入担当者 北岡 直子 （連絡先）（078）453—6378

城が山 4.5 丁目その 2 (荒内自治会)

位 置	神戸市垂水区	地区の性格	密集市街地・細街路整備・防災性向上
面 積	約6.0ha	世 帯 数	386世帯
設立年月	-	設 立 主 旨	地域発展のために寄与する
		アピールしたいことを一言！ 今の世代が安心して住みつづけられるとともに、少しずつ、ゆるやかに、まちの防災・耐震化を促し、次世代へと受け継がれるまちづくり	

区域図



対象路線 現地写真



これまでの活動の概要

細街路整備事業について説明



不明権利者の調査・説明の実施



測量の実施



道路中心線案の現地での確認



2 項道路中心線案 調整中

— 専門家派遣地区データ及び成果 —

◇道路整備型まちづくり計画

派遣地区名	城が山4.5丁目その2地区（荒内自治会）（法定容積率 %）		
所在地	神戸市 垂水区 城が山4丁目		
権利者数・道路概要等	権利者数29名 土地所有者24名 建物所有者18名 賃借人名	延長68,115m × 幅員1,584-3,572m（公道・私道）	
		戸数14戸	うち既存14戸 再建済 戸 空地 戸
中心線合意・道路整備	道路中心線合意形成 済・未済		着工30年予定 （未確定の場合は予定を書いてください。）
派遣目的	東垂水の密集市街地の防災性の向上をめざして、街区内の2項道路の中心線後退及び老朽建築物等の建替えを促進するため、道路整備工事に先立ち、対象団体が行う取り組みに対して、専門的・技術的な支援を行う。		
本年度の派遣実績並びに成果 ・いつ・何が・どうなったのか具体的にご記入ください	年度	種別 (いずれかに○)	成果
	28年度	アドバイザーⅠ アドバイザーⅡ ○コンサルタント	細街路整備事業について説明 ▽ 不明権利者の調査・説明の実施 ▽ 測量の実施 ▽ 道路中心線案の現地での確認 ▽ 2項道路中心線案 調整中
難行した点 有効だった点	難航した点 ・のちのち、土地の権利がかわってしまうのではないかと心配されており、事業内容への理解が難航している。 有効だった点 ・自治会の協力があり、権利者の方との連絡等がスムーズにいった。		
今後の課題	・道路中心線（案）の調整をすすめ、申請書の作成をする		

アドバイザー・コンサルタント名 株式会社 都市調査計画事務所

記入担当者 北岡 直子 （連絡先）（078）453—6378